

匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業

令和2年度 第2回 飯倉駅前地区まちづくり協議会／専門部会

合同会議 議事録

日時	令和2年12月5日(土) 15:00~17:00
出席者	<p>■協議会委員</p> <p>井上 峰夫 社会福祉法人九十九里ホーム理事長 鈴木 弘 匝瑳市シルバー人材センター会長 眞田 心哉 千葉興業銀行営業支援部長代理 代理出席 伊場 寛人 千葉興業銀行八日市場支店長</p> <p>宇野 智弥 匝瑳市介護事業者連絡会長 加瀬 功一 匝瑳市ボランティア連絡協議会長 吉本 光志 豊栄地区社会福祉協議会長 椎名 英夫 幼稚園・保育園運営者代表 川崎 隆 豊栄地区区長会長 鵜之沢 正吉 須賀地区区長会長</p> <p>■専門部会員</p> <p>井上 峰夫 社会福祉法人九十九里ホーム理事長(再掲) 眞田 心哉 千葉興業銀行営業支援部長代理 代理出席 伊場 寛人 千葉興業銀行八日市場支店長(再掲)</p> <p>鈴木 勝也 株式会社ベネフィット代表取締役 大久保 彰彦 八日市場青年会議所社会開発委員会担当副理事長 近藤 剛志 そうさ音楽教室代表</p> <p>■事務局</p> <p>社会福祉法人九十九里ホーム 江波戸 美代 専務理事 鈴木 敦子 事務長 庄村 秀泰 コーディネーター</p> <p>特定非営利活動法人元気な日本をつくる会 武藤 克哉 組織運営本部事務局長</p>

	<p>■オブザーバー</p> <p>匝瑳市</p> <p>林 雅之 匝瑳市企画課長</p> <p>木内 将市郎 匝瑳市企画課 副主査</p>	
議事録	事務局	<p>1 開会</p> <p>開会のあいさつを行った。</p>
	事務局	<p>2 議事</p> <p>(1) 令和2年度取組内容について</p> <p>①移住・定住へのPR手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安心・安全な生涯活躍のまち」を実現する運営方法とPRの検討 <p>②地域交流センターの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・匝瑳市全体で取り組むコミュニティ運営の検討 <p>(2) 第1回専門部会委員の意見紹介</p> <p>①移住・定住へのPR手法</p> <p>②地域交流センターの活用</p> <p>(3) 事業進捗状況報告</p> <p>1) 工事進捗状況報告</p> <p>2) 移住・定住へのPR手法</p> <p>①PR動画の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1話「認定こども園 あかしあこども園」 ・第2話「特別養護老人ホーム シオン」 <p>②まちづくりパンフレットの制作</p> <p>3) 地域交流センターの活用</p> <p>①生涯学習施設の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人設立案 ・九十九里ホームの企画と一般賃貸での運営案 <p>②農産物直売所の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農協(JA)案 ・農福連携直売所案

		<p>(4) 今後のスケジュールについて</p> <p>・第3回協議会：3月13日 13:00～</p>
井上峰夫 会長		<p>ここまでのところ、ご意見いかがか。</p>
A委員		<p>PR動画を見て改めて匝瑳市はいいなと思った。匝瑳市の魅力が十分PRされていて素晴らしい動画になっていると感じた。</p> <p>コンセプトを見ていて、もっと視点を変えたほうが良いという部分はいくつかある。例えば資料P8の「生涯学習施設の運営」の中に、「地域住民の方々の中から秀でた知識、経験、技能をお持ちの方々を活用」とあるが、まさにその通りで、地域には色々な技術を持った方々はいる。私が気になるのは、「地域住民の方々の中から」という部分だ。</p> <p>新たにサービス付き高齢者向け住宅が出来るのだから、「居住者の皆様が匝瑳市で知識、技能や経験を発揮してもらおう」というような、新しく来る人の活躍の場だという視点を出して欲しい。</p> <p>ここに来られる高齢者は凄いキャリアを持っているはずだと私は思っている。そういった方々に匝瑳市はそれを発揮できる場だという事をPRして欲しい。そうすれば、自身の知識を教えてあげよう、活用しよう、と考える素晴らしい方々へのPRになるはずである。</p> <p>地域交流センターのA案NPO設立に関して、「市内の講師候補宛に賛同者を募りNPO設立を検討」との記載があるが、このような受け身ではなく、今後匝瑳市に移住する方に対して、「NPO法人に積極的にかかわりませんか？実際に来て能力を発揮しませんか？」というコンセプトを組み込んで欲しい。そうすれば、そういう志を持った方が移住してくれるのではないか。</p>
B委員		<p>PR動画については大変よく出来ていると思う。やや、施設紹介の要素が多いようだが、やむを得ないと思う。も</p>

		<p>う少しワクワク感があると良かったと思うが、今後に期待したい。</p> <p>匝瑳市はNPO法人が少ないと感じている。統計的にはわからないが、こんなに少ないところはないのではないかと思う。生涯学習というテーマでなくてもいいので、ぜひ「まちづくり」のためのNPO法人を立ち上げて欲しい。</p> <p>農福連携は九十九里ホームにしか考えられない素晴らしい考えだと思う。これが実現すれば匝瑳市の農業の活性化にも寄与すると思う。農福連携をぜひ起爆剤として支援して頂きたい。</p> <p>C委員</p> <p>PR動画は良いと思うが、もっと幅広い地域全体の話であればもっと良いと思う。</p> <p>NPO法人の「生涯活躍のまち」で移住してくるスキルのある人と、匝瑳市の良いところや技術的なものがうまく繋がっていくと良いと思う。</p> <p>最後に農福連携の件だが、これは非常に良いと思う。障がい者でもできる仕事を与える。これからの多様化の時代に合っていると思う。</p> <p>D委員</p> <p>PR動画を見た率直な意見を述べさせて頂くが、良かったのは保育園の先生と介護職員の方を中心に作っている所である。気になったのは海に近い匝瑳市、それが海と空が映像ではどんよりしている事であった。私は匝瑳市に住んで海や空がとても良いと思っている。私が来たときは海で泳ぐことが出来た。あのきれいな海や青空をPRできないだろうか。</p> <p>匝瑳市は「読めない」、「書けない」、「どこにあるかわからない」とよく言っている。千葉県はどこにあるのかを地図で示さないと、言葉で説明しても伝わらない。県外の人も見られる様になっていると思うので、やはり位置をしっかりと示して欲しい。また、そこに行くにはどのような交通機関を使えばいいのか説明をして欲しい。</p> <p>飯高檀林の映像などは、私は必要ないと思う。知っている人からすればもちろん素晴らしいものだと思うが、それよりも匝瑳市へのアクセス等をわかるようにして欲しい。</p>
--	--	---

		<p>あとは、介護士の方々、保育園の先生方の映像はそれぞれ最後に全員集まって、私はここに来てこれだけの友人ができた、楽しい職場です、というアピールをして欲しい。</p> <p>「活躍」を表しているのだが、「活躍」という言葉よりもう少し柔らかい表現の言葉があればいいなと思う。</p> <p>最後に工事は順調のようだが、事故の起きないように安全第一で進めて欲しい。</p>
	E 委員	<p>今回の感想を申し上げますと、この開発が単なる飯倉地区の開発に終わって欲しくない、匝瑳市全体の核になって欲しいと思っている。</p> <p>「あかしあこども園」もあり、出産してから幼稚園・保育園に預けるまでの間、遊びに来れる場所、自由に訪問できる場所として、交流センターの一室が確保出来ないだろうか。出産を控えている妊婦の方々に、ベビーマッサージ体験等の活動が交流センターにて出来ると良いと思う。そうして若い人を呼び込みたいと思っている。</p>
	F 委員	<p>PR動画についてはすごく優しい内容で、誰にでも受け入れられる内容だと思うが、指摘できる所は沢山あると感じた。</p> <p>あの動画が何のために作られたのかという理由付けがはっきりしていないといけないと思う。コンセプトとしては4つの新しい施設、匝瑳市のPRがあると思うが、その宣伝のための動画、その動画自体がちょっと弱いという印象を受けた。</p> <p>匝瑳市の良い所というのは、基本的に散りばめてあって良いと思う。人間と自然と歴史とそれは価値があるものだと思う。しかし、それをまとめるとすごく優しい内容になってしまっていて印象に残らない。</p> <p>物事を宣伝するためには、宣伝するものを宣伝する必要がある。それに関しては、より印象強いものでないと再生回数は稼げない。より多くの人にあの動画を見てもらうためには、もっと突飛な内容の動画を作るべきだと思う。例えばあの動画をひたすら突っ込む動画でもよいし、コロナを逆手に取った動画でもいいと思う。見る人を怒らすよう</p>

	G委員	<p>な動画でもいいと思う。</p> <p>コロナ禍で都会はダメだとうっすらみんなわかっている中で、田舎はリモートも含めて仕事もできるし、もっとアピールしていかないといけないと思う。私も移住して便利だと感じている。</p> <p>交流センターに関して、先ほど素晴らしい講義も聞かせていただいた中で、孤立に対してのアプローチとして色々な方法があって、交流センターもそれに通じるのかと思う。</p> <p>私の普段の活動の関係上、外国人と付き合うことが多い。匝瑳市にも外国人はたくさんいる。外国人のコミュニティがあるのはまだよくて、コミュニティのない外国人は孤独である。今はコロナの関係でいないが、農家の方で研修に来ている人は、会社の中で衣食住が完結していると日本語をほぼ使わない。そうすると地域から完全に隔絶されてしまう。今後、外国人の移住者は増え続けていくと思っている。早い段階で交流センターでの異文化交流をするようなイベントはあるべきでないかと考えている。これも一つの福祉ではないかと思う。例えば各国のお祭りだとか、イベントはいろいろ考えられると思う。</p> <p>サービス付き高齢者向け住宅にある食堂について気になったのが、地域食堂を行うという点である。賛成なのだが、中身に魅力がないとお客様は集まらないし、やるからには収益を上げなければならない。例えば漁師食堂のような、海がある地域なので、漁師の奥さんが作る料理というのは魅力的ではないだろうか。</p> <p>農福連携も素晴らしいと思う。精神障がいの方が農業をすることによってケアになることは、私の経験上も有効だと実感している。移住という観点からもすごく良い取り組みなので、ぜひ取り入れるべきだと思う。</p> <p>今後もどんどんPR動画を出すようなのでぜひ広がりがある、掴みのあるような動画を期待している。</p> <p>地域交流センターについてだが、説明の中で採算が合わないので参加しないとの話があったが、他の農産物直売所では採算が取れていないということなのだろうか。</p>
--	-----	---

井上峰夫 会長	<p>他の農産物直売所の状況はわからないが、立地や面積、駅の乗降客数等を勘案すると、とても商売としては出来ないとの回答だった。</p>
G委員	<p>農福連携の件だが、助成金等はもらえないのか。</p>
井上峰夫 会長	<p>色々な組み立て方によって、助成金を貰えるケースなど様々なパターンや制度がある。どう組み立てるかは検討していきたい。</p>
H委員	<p>PR動画はリズムがゆっくりなので、3本目4本目と見てもらえるだろうか。起承転結でストーリーを作って続きを見たくなるようなものに出来れば違ってくると思う。</p> <p>農福連携については、障がい者の方を雇用するとの話だが、雇用される方の平均年収がどのようなものなのか。そんなに高くはないと思うが、その場合オーガニック野菜を格安に一般ユーザーに提供できるのではないかと、それとも、障がい者の方の年齢などに応じて年収を3百万や4百万、5百万というところまで高められる制度を作れるのか。安く雇用して良いものを売るのか、そこそこのものを作って賃金対価を厚くするのか。そこのバランスをどうするのがポイントだと思う。</p> <p>コロナの関係で移住者は増えつつあると思う。ただ、そこに匝瑳市が選ばれているかという疑問である。</p> <p>テレワークの関係で、一人住まいでも二部屋欲しい、仕事用の部屋が欲しい、とワンルームから2DK等に住み替えるニーズがあるようだ。もう一つ、東京区内の人口は流失で減っているようなのでチャンスだとは思う。色々な選択肢がある中で、どのように匝瑳市を選んでもらうかが大事だと思う。</p> <p>堀田先生にここまでのところで感想を頂きたいと思います。</p>
井上峰夫 会長	

堀田聰子 先生	<p>本当にとっても楽しみだなと思った。</p> <p>まず移住定住についてのPR動画についてだが、移住するという事を考える材料としては少し弱いと思った。移住定住した人に話を聞いた方がよいのではないか。</p> <p>日常生活で医療のこと、買い物のこと、物件はあるのか、仕事はあるのか、子育てはどうか等である。シリーズとしてこのエリアの安心安全に着目するものもあれば、一般的に移住定住を後押しする何か、移住定住を考えるときに重要な要素を調べてもいいのかと思った。</p> <p>地域交流センターについては2点。1つはやりたい事が実現できる、学ぶ（学習）で移住を検討する人もいるが、楽しい、ワクワク、おいしい何か、やりたい事が実現できそう、あるいは活動ができる場としての意味合いもあるのかと思う。今地域の中で活躍している人や団体が活動する場として困っているかもしれない、そこに声をかけるのは大事だと思う。</p> <p>2つ目は最初の方も話していた内容に通じるが、資料P8に記載の秀でた知識、経験、技能について、今いる方であろうとこれから来られる方だろうと、自分では中々気づかないものである。ある地域で専門学校の学生とソーシャルワーカーで「ゼロヒャクスタイル」という地域の面白い人を順番に話を聞いていくというものを行ったが、世代が同じで同じ地域に住んでいると、何がすごいのか分からないということがあった。「若者、ばか者、よそ者」ではないが、世代が違う人たちが話を聞くなど、秀でた才能を発掘しあう事で世代や国籍を超えて新たな発掘・発見があるのではないか。</p> <p>農福連携についてだが、障がいのある方だけでなく高齢者で介護が必要になった方や、認知症の方などの切り口を入れてもいいのかなと思う。それから、既存の農業で価値を高めることも大事である。価値を高めてくれる方を移住定住で集めていく。これはPR動画のターゲットに繋がると思う。ターゲットを絞っていく中で、農福連携の農の価値を高める方、力を発揮してくれる方に優先的にアピールするなどを検討してもいいと思う。</p>
------------	--

	I 委員	<p>PR動画に関して、居住者からの視線を入れるのも良いのではと思った。</p> <p>PR動画の中で空撮での施設紹介の前に「～のための」の文字が入るといいと思う。</p> <p>出だしのインパクトがあった方がよいと思う。例えばキャッチコピーや、ゆるキャラなど、インパクトが残る方がよいと思う。</p> <p>移住者向けPRに関しては、メリットだけでなくデメリットの、ここが不便という部分についても逆に示し、その解決策までを示せたらより良くなると思う。</p> <p>全体的な事業の流れで目指すところをフローチャートや図のようなもので示せたら、コンセプトが明確に分かるようになると思う。</p> <p>コロナウイルスの状況によって様々なことが変動していく可能性があるので、ある程度ふり幅を用意しておき、どんな状況にも対応出来るようにした方がよいのではないかなと思う。</p>
	J 委員	<p>素晴らしい動画だとは思いますが、あの動画で全国の移住定住を掲げる市町村と比較して勝たなければならない。</p> <p>今日動画を視聴した人たちは続きを見ると思うが、動画全体を他の地域の人に見てもらわないといけないと思う。今の言葉でいうとバズらせる、視聴率を上げないと自己満足で終わってしまう。それを九十九里ホームだけに負わせるのは荷が重いので、市を巻き込んで外の世界にいかにかアピールしていくかが大事ではないか。完成まではまだ2年程度あるので同時に進捗を図っていった方がよいのではないかな。</p> <p>地域交流センターの活用については、非常に苦戦するのではないかと率直に思う。色んな人に聞けば色んな意見があると思うが、どれも何が正解か判断するのが難しいと思う。</p> <p>地域交流センターについては基本的にはNPO法人を作って行っていく方針が有力なのか？</p>
	井上峰夫	<p>現状はまだNPO法人でやっていくことを決めた訳では</p>

会長	なく、検討段階である。
J 委員	<p>B 案では九十九里ホーム主催にて医療、保健、予防、リハビリ、介護、子育て、幼児教育等の講座を開設するとあるが、これはまさに九十九里ホームが得意な分野だと思うし、これはこれで素晴らしい案だと思う。</p>
K 委員	<p>動画については、あれは誰に対しての動画なのかなと思った。私たち若い世代から見たら訳のわからない動画だった。</p> <p>例えば求人であったり、入居者・利用者募集であれば素晴らしい動画だと思う。先輩が働いている、そういう環境があるというのは分かる。飯高檀林の映像が出てても若い人からすると、どんな秘境なんだろうと思ってしまう。第3話も観たが、構成は基本一緒に映っている名所も何も名前が出ていなく、ただただ景色として過ぎていくだけだった。本当に若者や現役世代を呼ぶのであれば特に自然には興味はないと思う。ここに住んで初めてわかる良さや、その中にある便利さをアピールしなければならない。</p> <p>今の時世、県外に動画を拡散させることは難しいと思う。主体である九十九里ホームが全面に出してしまうのは仕方ないと思うが、1本2本だけでも市だけをPRした動画を作成すれば、匝瑳市内の企業のHPにもリンクを張ってPRする事は可能だと思う。</p> <p>地域交流センターは農産物にこだわらなくてもいいのではないかと思う。物産展は地域の近隣でもすでに沢山あると思う。海産物もそこまで有名ではないと思う。</p> <p>このコロナ禍の中で大学にも行けない、授業も受けられない、この先が全く分からない、不安の中に生きている大学生や高校生に開放して、そこでみんなでコミュニケーションを取ったり、勉強をしてもらったりするのはどうだろうか。塾も閉まってしまって、塾講師も仕事が無くなっているなら、ワークショップとして大学生でも借りられるような費用で貸し出すような利用方法として使えないかと思う。</p>

	事務局	5 閉会 次回は3月13日(土)協議会開催予定。
--	-----	-----------------------------